

改善計画書

施設名 四日市市立磯津保育園

(担当者 濱 啓子・伊藤 幸司)

(作成年月日 令和 8年 3月 13日作成)

(施設として続けるに優れている点)	1	少人数であることを強みとして捉え、異年齢保育を実践していくことで子どもが豊かで多様な経験を積むことができる保育を進めていく。						
	2	地域とのつながりを大切に、地域とのかかわりや交流を通して、ともに子どもの育ちを見守ることができるよう今後も継続して取り組んでいく。						
	3	子どものことや保護者自身の思いなど、様々な発信を丁寧に受けとめ、保護者が安心して子どもを預けることができる信頼関係の構築に努め、継続した支援を行っていく。						
	4	働きやすい環境づくりを進め、職員が保育に対して意欲やモチベーションを高く持ちながら取り組むことができるよう努める。						
	5	子どもの姿や成長を担当だけでなく園全体で共有し、職員同士が連携しながら見守っていく。また子ども、保護者・職員が安心して園生活を送ることができるよう、安全で温かい環境づくりに努める。						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
まず取り組むこと	1	中・長期計画の策定	「縦割り保育」「地域共生」など園の特徴を示した中・長期計画の策定	1年	R8.4～	R9.3	園の特徴、子どもの姿など園の現状把握、意見交流をして策定する	園長・主任
	2	市の動向、地域のニーズに合わせた保育に関する状況の把握・分析	市、地域の保育ニーズに合わせた園運営事業計画に生かす	1年	R8.4～	R9.3	地域の保育ニーズについて検討をする、地域の子育て経験者の話などを職員間で共有し保育に生かす 年度末に振り返りをする	園長・主任
	3	研修記録、保護者対応等記録の作成、管理	研修記録、保護者対応等記録の作成、管理体制を整備し、全職員に周知させる。	3か月	R8.4～	R8.6	記録作成の目的を周知させる 園内で還流、報告をし、保育の資質向上にもつなげる 保護者が相談しやすい案内文書の作成 年度末に次年度に向けての話し合いを行う	園長・主任
	4							
	5							
工夫すればできること	1	マニュアルの周知、見直し	マニュアルの内容を職員へ周知し、職員間で理解を深める	1年	R8.4～	R9.3	会議等を通してマニュアルの内容を周知したり、活用を通して理解を深める 主管課と連携をとり、市として統一されたマニュアルが必要か確認をとる 年度末に次年度に向けての話し合いを行う	園長・主任
	2	職員の育成に向けた取り組み	職員との面談時に具体的な目標設定を明確にする	1年	R8.4～	R9.3	目標設定の確認、評価について年二回の面談を行う 目標の数値化、人事考課については市と確認をしながら検討を進め今後の運用に反映する	園長
	3							
	4							
	5							
予算化しないといけないこと	1							
	2							
	3							
	4							

۳۲	۵							
----	---	--	--	--	--	--	--	--